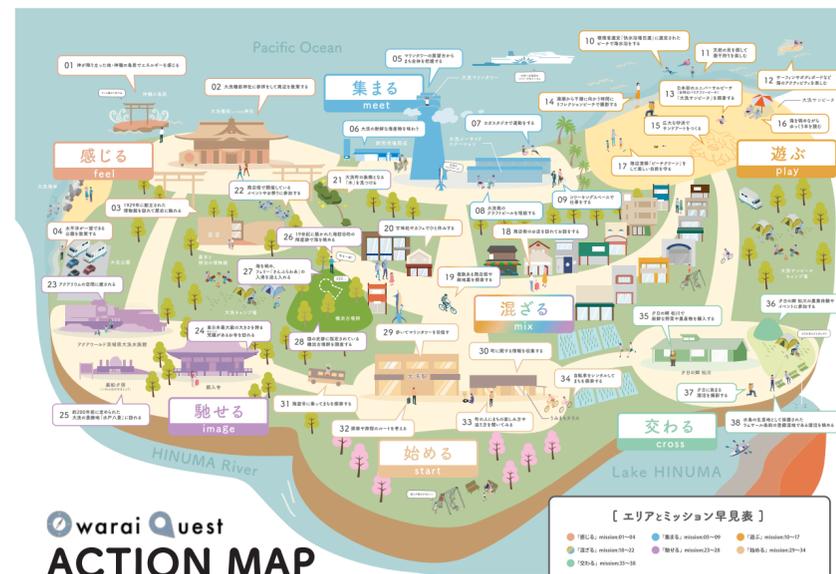
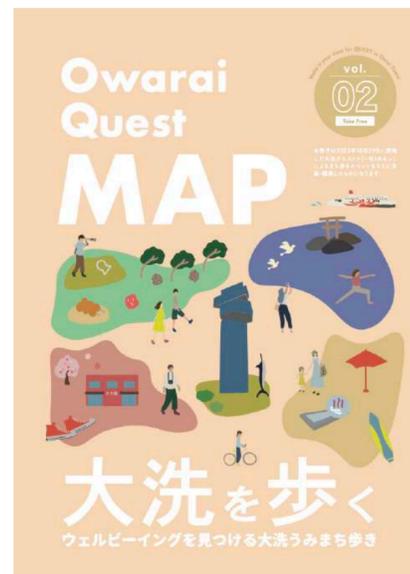
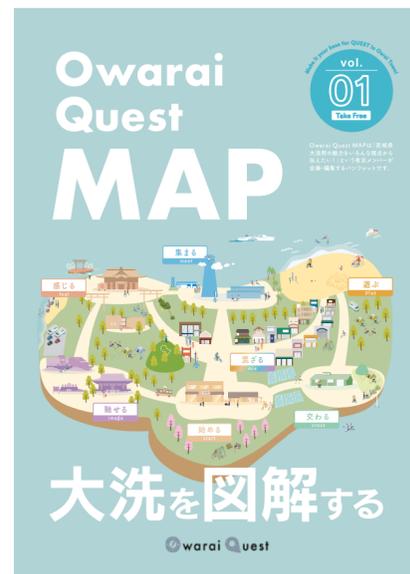


萬里小路 忠昭 | Tadaaki Madenokoji

Portfolio | Local

事業：茨城県大洗町 | 「大洗魅力発掘プロジェクト」地域の魅力発掘・発信

業務：フィールドワーク・まち歩きイベントの企画運営、まち探索MAPの企画制作等



アートコース

～自分のアートと向き合うフォトジェニックコース～



歴史コース

～人情から歴史に触れる商店街散策コース～



自然コース

～自然との一体感を味わう mindfulネスコース～

プロジェクトページ



Project Planning & Management | プロジェクトプランニング & マネジメント

Portfolio

事業：茨城県大洗町 | 「うみまちひろば」地域の魅力発掘・発信

業務：場づくりイベントの企画運営



プロジェクトページ



Project Planning & Management | プロジェクトプランニング & マネジメント

Portfolio

事業：茨城県大洗町 | 「ワーケーション (Work&Creation) 」 関係人口の創出

業務：地域体験型ワーケーションプログラムの企画運営



[プロジェクトページ](#)



事業：茨城県大洗町 | 「Create Owarai (クリエイト大洗)」 関係人口の創出

業務：地域共創型まちづくりプログラムの企画運営



プロジェクトページ



事業：茨城県大洗町 | 「DooR to Oarai」二地域居住の推進

業務：二拠点居住サイトの企画制作・居住体験プログラムの企画運営 等



DooR to Oarai

もう一つの暮らしとなりわいを

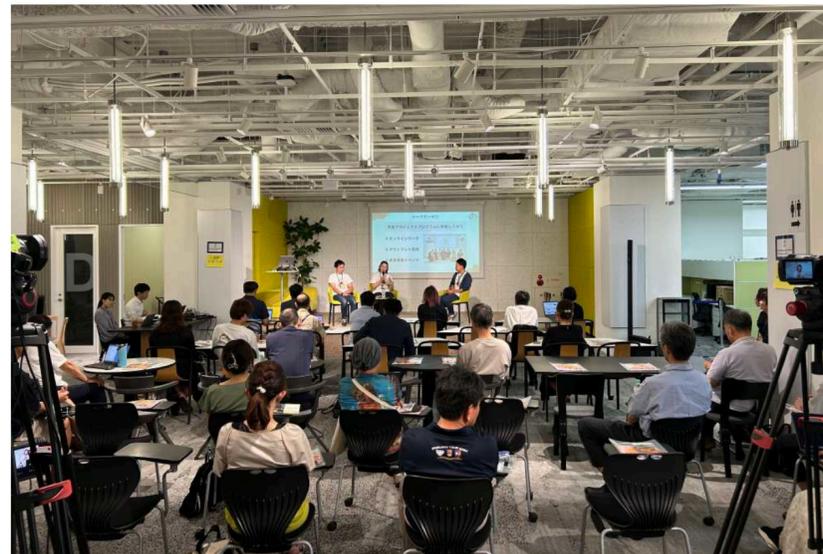
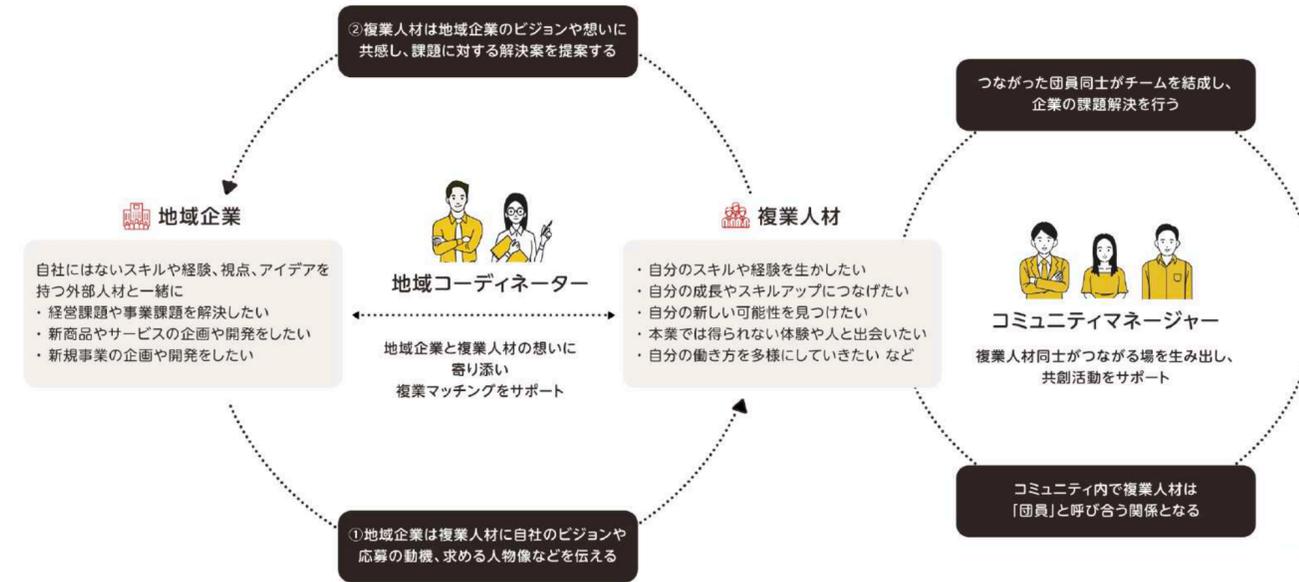


[webサイト](#)



事業：愛媛県松山市 | 都市部人材デュアルワーク支援事業（2021年度～2024年度）

業務：プログラムの企画・運営および複業人材のコーディネート、イベントのファシリテーション等



松山市ページ



事業：茨城県 | つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト (2023年度)

業務：STAND TOKYOプログラム「いばらき企画編集ゼミ」 プログラム参加者のコーディネート & ファシリテーション



[イベントページ](#)



[イベントレポート](#)

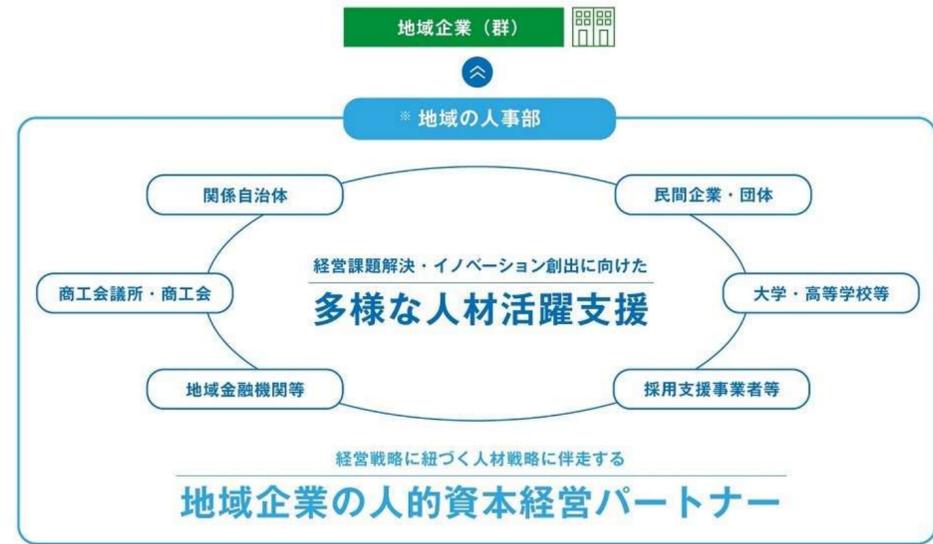


Interview & Writing | インタビュー & ライティング

Portfolio

事業：経済産業省 関東経済産業局 | 地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業（2022年度）

業務：地域の中小企業における人的資本経営を推進する「地域の人事部」の解説記事のライティング



今日のHUB LOGICが主催するコラムでは、経済産業省関東経済産業局が推進する「地域の人事部」とはどのようなものか？地域の企業や自治体、個人（個人）へどのようなメリットや課題があるのか、2022年度の実績と今後の展開、事業の概要、関係自治体の役割や連携について、「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。

はじめに

少子高齢化を背景とした生産年齢人口の減少、近年の新型コロナウイルス感染症の発生、新しい技術革新の加速、エネルギーやデジタル技術の発展など、多くの日本企業を取り巻くビジネス環境は急速に変化を遂げています。このような状況下で、各地域の中小企業や小規模事業者は、大企業やベンチャー企業と競争する上で、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などを実行している企業は、多様な人材を活用して社会の発展・進歩に貢献する役割がますます求められています。

本記事では、経営課題の「人」に関すること（フォーカス）として、人材戦略と経営戦略を結びつける「人的資本経営」の概要について、地域の中小企業が率先して、地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

① 「地域の人事部」は経済産業省関東経済産業局が2022年度より取り組む開始した、地方の地域（自治体・関係自治体・大学等）、新産業（新産業・新産業）、産業界（産業界・産業界）、産業界（産業界）の協力で、各自治体で立ち上げた自治体向けの推進事業です。

② 「地域の人事部」は経済産業省関東経済産業局が2022年度より取り組む開始した、地方の地域（自治体・関係自治体・大学等）、新産業（新産業・新産業）、産業界（産業界・産業界）、産業界（産業界）の協力で、各自治体で立ち上げた自治体向けの推進事業です。

③ 「地域の人事部」は経済産業省関東経済産業局が2022年度より取り組む開始した、地方の地域（自治体・関係自治体・大学等）、新産業（新産業・新産業）、産業界（産業界・産業界）、産業界（産業界）の協力で、各自治体で立ち上げた自治体向けの推進事業です。



地域の中小企業にとってなぜ人的資本経営が必要なのか

まず、地域の人事部の取り組みを促すことになったのは、この数年の社会的変化と関係しています。地域の中小企業における人的資本経営の必要性について解説します。

① 出資額・スタートアップ・ハイブリッドの導入、② 新産業・新産業の創出、③ 新産業・新産業の創出、④ 新産業・新産業の創出、⑤ 新産業・新産業の創出、⑥ 新産業・新産業の創出、⑦ 新産業・新産業の創出、⑧ 新産業・新産業の創出、⑨ 新産業・新産業の創出、⑩ 新産業・新産業の創出、⑪ 新産業・新産業の創出、⑫ 新産業・新産業の創出、⑬ 新産業・新産業の創出、⑭ 新産業・新産業の創出、⑮ 新産業・新産業の創出、⑯ 新産業・新産業の創出、⑰ 新産業・新産業の創出、⑱ 新産業・新産業の創出、⑲ 新産業・新産業の創出、⑳ 新産業・新産業の創出、㉑ 新産業・新産業の創出、㉒ 新産業・新産業の創出、㉓ 新産業・新産業の創出、㉔ 新産業・新産業の創出、㉕ 新産業・新産業の創出、㉖ 新産業・新産業の創出、㉗ 新産業・新産業の創出、㉘ 新産業・新産業の創出、㉙ 新産業・新産業の創出、㉚ 新産業・新産業の創出、㉛ 新産業・新産業の創出、㉜ 新産業・新産業の創出、㉝ 新産業・新産業の創出、㉞ 新産業・新産業の創出、㉟ 新産業・新産業の創出、㊱ 新産業・新産業の創出、㊲ 新産業・新産業の創出、㊳ 新産業・新産業の創出、㊴ 新産業・新産業の創出、㊵ 新産業・新産業の創出、㊶ 新産業・新産業の創出、㊷ 新産業・新産業の創出、㊸ 新産業・新産業の創出、㊹ 新産業・新産業の創出、㊺ 新産業・新産業の創出、㊻ 新産業・新産業の創出、㊼ 新産業・新産業の創出、㊽ 新産業・新産業の創出、㊾ 新産業・新産業の創出、㊿ 新産業・新産業の創出、



地域の人事部が目指す姿とは

地域の人事部は、地域の中小企業の人的資本経営を推進し、経営課題の解決やイノベーション創出に向けて、多様な人材を確保・育成することを目指しています。また、地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

① 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

② 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

③ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

④ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑤ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑥ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑦ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑧ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑨ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑩ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑪ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑫ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑬ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑭ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑮ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑯ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑰ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑱ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑲ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

⑳ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉑ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉒ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉓ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉔ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉕ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉖ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉗ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉘ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉙ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉚ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉛ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉜ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉝ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉞ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㉟ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊱ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊲ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊳ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊴ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊵ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊶ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊷ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊸ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊹ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊺ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊻ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊼ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

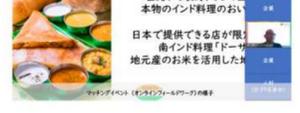
㊽ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊾ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

㊿ 地域の人材確保や育成を推進する事業の概要について詳しく見ていきます。

2022年度は8自治体で実証事業に取り組む

地域の人事部の役割は、地域の中小企業や自治体、個人（個人）へどのようなメリットや課題があるのか、2022年度の実績と今後の展開、事業の概要、関係自治体の役割や連携について、「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。



地域の人事部取り組み事例②：新潟県長岡市

新潟県長岡市は、株式会社つたが地域の主要組織となり、自治体、商工会、銀行、信託会社といった関係機関によって地域の人事部を構築しました。2022年度からは地域の人事部の士社となる取組が本格化して、自治体は自治体から自治体へ、企業は企業から企業へ、自治体と企業との連携を推進する「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。

【長岡市】地域の人事部の体制

新潟県長岡市は、株式会社つたが地域の主要組織となり、自治体、商工会、銀行、信託会社といった関係機関によって地域の人事部を構築しました。2022年度からは地域の人事部の士社となる取組が本格化して、自治体は自治体から自治体へ、企業は企業から企業へ、自治体と企業との連携を推進する「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。

【長岡市】地域の人事部取り組み事例①

新潟県長岡市は、株式会社つたが地域の主要組織となり、自治体、商工会、銀行、信託会社といった関係機関によって地域の人事部を構築しました。2022年度からは地域の人事部の士社となる取組が本格化して、自治体は自治体から自治体へ、企業は企業から企業へ、自治体と企業との連携を推進する「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。

【長岡市】地域の人事部取り組み事例②

新潟県長岡市は、株式会社つたが地域の主要組織となり、自治体、商工会、銀行、信託会社といった関係機関によって地域の人事部を構築しました。2022年度からは地域の人事部の士社となる取組が本格化して、自治体は自治体から自治体へ、企業は企業から企業へ、自治体と企業との連携を推進する「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。

【長岡市】地域の人事部取り組み事例③

新潟県長岡市は、株式会社つたが地域の主要組織となり、自治体、商工会、銀行、信託会社といった関係機関によって地域の人事部を構築しました。2022年度からは地域の人事部の士社となる取組が本格化して、自治体は自治体から自治体へ、企業は企業から企業へ、自治体と企業との連携を推進する「地域の人事部」の概要と役割、各自治体における推進体制と今後の展開について、詳しく解説しています。



webサイト

Interview & Writing | インタビュー & ライティング

Portfolio

事業：経済産業省 四国経済産業局 | オープンファクトリー 実践の広域展開支援事業（2024年度）

業務：愛媛・高知のものづくり企業へのインタビュー（現地）およびライティング

< 愛媛（新居浜・西条・今治） >

< 高知（四万十・土佐・いの・香美） >



愛媛（前編）



愛媛（後編）



高知（前編）



高知（後編）



事業：山口県 | やまぐち創生テレワーク推進事業（2023年度～2024年度）

業務：テレワーク移住者へのインタビュー（現地 & オンライン）およびライティング



日のあたりの良い場所で心に余裕のある暮らし方を実現する | 高木帆南さん



外から来た移住者ではなく、山口県民として暮らす選択 | 宮城拓也さん



緑もゆかりもない土地でも住んでみて見えてくるものがあった | 太尾田菜さん



結婚をきっかけに、出身地である山口へのテレワーク移住を決断 | 寺田直和さん



自分と家族の価値観やライフスタイルに合った地域で暮らす | 吉田昌彦さん



「海のある地域に住みたい」という思いを持って1ターン移住を決断 | 志田晴飛さん

日のあたりの良い場所で心に余裕のある暮らし方を実現する 高木帆南さん

東京で働く会社を辞めずに山口へ移住する選択をした
- 山口県に移住するきっかけについて教えてください。

大学を卒業するまで地元の北九州で過ごし、新卒で東京に本社があるインターネットの広告代理店に就職しました。営業として働き、3年目の冬に結婚することが決まったのですが、夫は山口県光市にある会社に勤めていて、そこで実業団野球をしていました。夫には野球を辞めて欲しかったので、私が会社を辞めて光市に行くしかないと思っていました。その話を会社に伝えたところ、「テレワークで働いてみないか」と多額をいれなかった提案をいただきました。既婚の仕事はやはりいいと感じていたので、仕事が終わる選択をいだけてとてもありがたかったです。



（高木帆南さん山口に遊びに来た時の写真）

会社として初めてのテレワーク勤務者となった
- テレワークでの山口への移住が決まった頃について、どのような心境でしたか？



ただ、仕事が終わると言っても、2019年頃は昔のうちにテレワークという働き方が普及していなかったため、社内でそうした働き方をしている人はおらず、対応した人事制度等もありませんでした。営業という仕事をしながら、クライアント先と地道で話をすることが当たり前だったので、いざテレワークで働くことが決まっても、ちゃんと働けるのか不安に感じていました。最終的にそれらの課題は、プロジェクトマネージャーへの部署変更により、社内研修やクライアントへの立場で変わったことで解消していききました。光市へ移住後は月に1、2回の頻度で東京に出張しながらテレワークでの勤務がスタートしました。

ライフワークバランスの良い働き方が実現できる
- テレワークで働き始めてのその後や現在について教えてください。

移住してテレワークで働き始めてから2年ほどが経った2021年に第1子、2022年に第2子が誕生し、専業主婦になりました。第1子誕生の際はコロナ禍だったこともあり、全体的にテレワークが普及しました。私が一人でテレワークをしていた頃と比べると負担が軽くなっていると感じます。心より子どもを持つとテレワークという働き方は自分の都合、通勤時間がなくなるので、子育てや家族との時間が確保できると感じています。今年、産後復帰を考えていて、復帰後は、朝早く起きるのが前職なので朝の時間に家事を終わらせ、日中はフルタイムで仕事に集中し、夜は家族との時間をとっていたライフワークバランスの良い働き方ができたと感じています。



（高木帆南さんの家族との写真）

仕事と子育てのバランスを大事に暮らしていく
- 移住した光市ではどのような暮らし方をしていますか？



結婚する前は夫と遠距離だったこともあり、光市には月に1回程度の頻度で訪れていました。その時から自然と暮らすのが好きになってきていたもので、全く知らない土地に移住して来たという感覚はなかったです。子どもを出産する時も重厚せず光市で出産しましたし、生まれてからも光市の子ども家庭課が児童館と併設しているので、子どもと遊びに行くついでに職員の方とわからないことを相談することができて、とても安心で暮らすことができている。また、海まで歩いて5分程度の場所に住んでいて、海を眺めながらリフレッシュしたり、夏は海水浴をしたりしています。自宅付近には公園やスポーツコートがある。自然環境や住環境が良い地域ですし、私にとっては自身の働き方、家族とのコミュニケーション、地域とのつながりなど、心地良い状態で暮らしている。心当たりがある方はぜひお問い合わせください。

最後に、山口県への移住に興味を持っている方にメッセージをお願いします。

東京から光市に来てみて、家の土地や保育園の面が広く、パーソナルスペースや子供が遊ぶ場所がとても充実していると感じています。また、近所の商店の方も顔見知りになったことで、子供の成長や健康を気にして、いつも気にかけてくれます。そうした場所の広さや人の心の広さがあると、心に余裕のある暮らしができると思います。光市は自然環境や住環境が良い地域ですし、私にとっては自身の働き方、家族とのコミュニケーション、地域とのつながりなど、心地良い状態で暮らしている。心当たりがある方はぜひお問い合わせください。

ウェブサイト



事業：茨城県 | つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト（2022年度 & 2024年度）

業務：「いばらき暮らしセミナー」 イベント登壇



[イベントページ](#)
(2022年度)



[イベントページ](#)
(2024年度)



事業：茨城県 | つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト（2023年度）

業務：STAND TOKYOプログラム「いばらき企画編集ゼミ」 イベント登壇

STAND

— 茨城とつながる日常 —

'TOKYO'



[イベントページ](#)



事業：いばらき県央地域移住・定住促進協議会 | 「いばらきどまんなかライフ」学生定住・UJターン促進事業（2024年度）

業務：「さがすいばらき」プログラム イベント登壇



いばらき県央で
暮らしと働き方、
自分らしさをさがす時間



2024 11.16 — 2025 03.01

- EVENT 1 | 事前説明会 全3回
- EVENT 2 | 先輩の話を聞く 全4回
- EVENT 3 | 現地に行く・取材をする 全4回

※参加は各回ごとの申込みとなります



イベントページ



事業：茨城県大洗町 | 大学連携×関係人口創出（2022年度～2024年度）

業務：茨城大学および玉川大学での大洗町を題材とした講義・ワークショップ



人文社会科学部・西野由希子教授

科目：プレゼン・スタディ（2022年度）

テーマ：大洗町への移住促進プランを策定

（講義1コマ、ワーク1コマ、プレゼン講評2コマ）



観光学部・鎌田伸尚教授

科目：地域文化論（2023年度～2024年度）、他1科目

テーマ：大洗町での二地域居住をPR

（講義10コマ、ワーク4コマ、プレゼン講評2コマ、現地案内）



事業：茨城県大洗町 | 大学連携×関係人口創出（2023年度～2024年度）

業務：玉川大学紀要論文の作成

<2023年度>

地域文化教育による関係人口作り

—茨城県大洗町の取り組みを通じて—

玉川大学観光学部紀要 第11号 2023年, pp.89～112	鎌田伸尚, 萬里小路忠昭
【実践報告】	研究方法は、実際に行った地域文化教育の観察と、その検証を行い、地域文化教育による関係人口創出の可能性と課題、効果などを分析し、今後の関係人口創出の可能性について考察する。
地域文化教育による関係人口作り —茨城県大洗町の取り組みを通じて—	1-3 本稿の構成 本稿では、以下第2節において、関係人口に関する現状を把握し、第3節では今回の実践内容を詳述する。第4節では、本報告のメインとなる実践内容について考察し、課題を抽出するとともに、今後の地域文化教育による関係人口創出の可能性について展望する。
鎌田伸尚*, 萬里小路忠昭**	2 関係人口について 2-1 関係人口の定義 関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉だと総務省は定義し、また、関係人口に対しては、地方圏の人口減少・高齢化による地域づくりの担い手不足という課題への地域外の担い手となることを期待している ¹⁾ としており、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目した施策に取り組むことの重要性が議論されたことに起因する。 また、「第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』(2019年12月20日閣議決定)」では、関係人口は、その地域の担い手として活躍することにとどまらず、地域住民との交流がイノベーションや新たな価値を生み、内発的発展につながるほか、将来的な移住者の増加にもつながることが期待されるとし、さらに、関係人口の意義として、創出・拡大は、受け入れのみならず、地域に関わる人々にとっても、日々の生活における更なる成長や自己実現の機会をもたらすものであり、双方にとって重要だとしている。
（要 約） 関係人口の創出は、今や地域振興の中心的な課題の1つとなっている。本研究では、地域文化教育を通じて、関係人口の創出の可能性について実践的に実行した取り組みを報告する。 本取り組みでは、2023年度に実施された玉川大学での講義「地域文化論」を地域文化教育の実践の場とし、様々なワークショップによる講義等を通じて茨城県大洗町地域について学び、学生が当地のカオスマップを作成するグループワークを通じて課題意識し、最終的にどのように大洗町を捉えたかを観察し、最終的に地域文化教育による関係人口創出の可能性について考察するものである。	関係人口が注目されたのは、「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会」(平成28年、総務省)において、地方圏が地域づくりの担い手の育成・確保という課題に直面していること、また、国民各層が居住地以外の地域と関わる機会が多様化していることに鑑み、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目した施策に取り組むことの重要性が議論されたことに起因する。 また、「第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』(2019年12月20日閣議決定)」では、関係人口は、その地域の担い手として活躍することにとどまらず、地域住民との交流がイノベーションや新たな価値を生み、内発的発展につながるほか、将来的な移住者の増加にもつながることが期待されるとし、さらに、関係人口の意義として、創出・拡大は、受け入れのみならず、地域に関わる人々にとっても、日々の生活における更なる成長や自己実現の機会をもたらすものであり、双方にとって重要だとしている。
キーワード：関係人口、地域おこし、地域おこし協力隊、地域文化教育、カオスマップ、ガールズ&バンパニー	関係人口創出の取り組みには様々なアプローチがあり、総務省は以下の5つに分類し、令和元年度モデル事業として実施している。 a. 関係深化型（ゆかり型） その地域にルーフがある者等を対象に関係人口を募る仕組みを設け、地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取組を実施しています。 b. 関係深化型（ふるさと納税型） ふるさと納税の寄附者を対象に地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する取組を実施しています。 c. 関係創出型 これから地域との関わりを持つようとする者を対象に地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけを提供し、地域の課題やニーズと、関係人口となる者の想いやスキル・知見等をマッチングするための中間支援機能を形成する取組を実施しています。 d. 裾野拡大型 都市部等に所在するNPO・大学のゼミなどと連携し、都市住民等の地域への関心を高める
1 はじめに	
1-1 研究の背景	
我が国の高齢化が進み、65歳以上人口が総人口に占める割合が3割に迫ろうとしており、15～64歳人口は、平成7年に8,716万人でピークに、令和3年には7,450万人と、総人口の59.4%となっている ²⁾ 。一方、2022年の人口動態統計（概数）によれば、合計特殊出生率は過去最低の1.26で前年の1.30より0.4ポイント低下しており、出生数は7年連続で減少、過去最少だった2021年を4万875人下回る7万747人となり、初めて80万人台を割り込んでいるのが現状である ³⁾ 。 少子高齢化の傾向が増す中、高齢化とも相まって地域の人口減が進み、とくに若年層の減少により、お祭りなど地域の行事も行えなくなるなど地域の担い手不足が大きな課題となっている。総務省は平成30年度、国民が「関係人口」として地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけを提供する地方公共団体を支援することを目的として、「関係人口創出・拡大事業」(モデル事業)が実施されている。現在は、過疎など地方圏における人口減少はさらに深刻化を増す中、地域創生等の動きに加え、関係人口作りの取り組みも上記モデル事業以外にも様々な手法にて全国各地で実施されている。	
1-2 研究の目的と方法	
本研究は、地域文化教育による関係人口創出の可能性について検証し、課題や今後取り組むべき方向性を明らかにすることを目的としている。	
所属：* 観光学部観光学科 ** 大洗町 地域おこし協力隊	受領日 2024年1月16日

<2024年度>

茨城県大洗町の観光地形成について

— 地域文化の発展と観光地の形成・発展過程 —

玉川大学観光学部紀要 第12号 2024年, pp.1～55	鎌田伸尚, 石井盛志, 萬里小路忠昭
【研究論文】	本研究は、茨城県大洗町が観光地としていかに形成されたのかを、大洗ならではの生活・文化背景、自然環境、そして「保養地」としての発展経緯を踏まえ、古代から現代に至るまでを明らかにしたものである。加えて、東日本大震災やコロナ禍等、観光にとって非常に困難な時期を経て発展を続ける現状や課題についても考察を行った。
茨城県大洗町の観光地形成について — 地域文化の発展と観光地の形成・発展過程 —	2 観光地の類型 観光とは「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊ぶということを目指すもの ¹⁾ 」であり、さらに言えば、「およそ観光とは自己の自由時間（＝余暇）の中で、暇賃、知識、体験、活動、休養、参加、精神の鼓舞等、生活の変化を求める人間の基本的欲求を充足するための行為（＝レクリエーション）のうち、日常生活圏を離れて異なった自然、文化等の環境のもとで行おうとする一連の行動をいう ²⁾ 」。 そうした目的のために、あるいは行動のために訪れるのが観光地だが、日本全国の観光地はそれぞれに成り立ちが異なり、様々な形成過程を経て発展をしてきている。観光で訪れる観光地は、大きく3つに分類され、すなわち「観光地」、「レクリエーション地」、「宿泊地」に分類し、その下に詳細分類される ³⁾ 。
鎌田伸尚*, 石井盛志**, 萬里小路忠昭***	a. 観光地 1. 街並み観光地 2. 都市観光地 3. 杜宇観光地 4. 自然風景地 b. レクリエーション地 5. スキー場 6. 海水浴場 7. 農山村地 c. 宿泊地 8. 温泉地 上記は、全国の観光地を大きく3分類を可能とするものである。詳細分類は、その観光地の観光資源や特性を示している。 なお、この分類は、近年盛んとなっているアニメの聖地巡礼等「推し活 ⁴⁾ 」による特定地域の観光地形成(目的的観光)を包含しておらず、新たに大分類として追加が必要であるし、複合的な特性を有する観光地(大洗もその1つ)の研究には複合観光地といった新たなジャンルも必要である。 なお、上記分類で取り上げた国土交通省のレポート ⁵⁾ では「海水浴場」に成功事例が含まれなかったとしているが、本研究で取り上げる大洗は海水浴を推進した保養地として発祥し、時代により、幾重にも観光資源が重なるように(多層的に)発展を遂げてきた経緯を次章以降で論じていく。
（要 約） 本研究は、茨城県大洗町が観光地としていかに形成されたのかを、大洗ならではの生活・文化背景、自然環境、そして「保養地」としての発展経緯を踏まえ、古代から現代に至るまでを明らかにしたものである。加えて、東日本大震災やコロナ禍等、観光にとって非常に困難な時期を経て発展を続ける現状や課題についても考察を行った。	本研究は、茨城県大洗町が観光地としていかに形成されたのかを、大洗ならではの生活・文化背景、自然環境、そして「保養地」としての発展経緯を踏まえ、古代から現代に至るまでを明らかにしたものである。加えて、東日本大震災やコロナ禍等、観光にとって非常に困難な時期を経て発展を続ける現状や課題についても考察を行った。
キーワード：茨城県大洗町、観光地形成、保養地、エリア・イノベーション、東日本大震災、コロナ禍	
1 はじめに	
1-1 研究の背景	コロナ禍を経て、今年度(2024年度)はコロナ禍前の2019年度とはほぼ同等の基準まで観光業が復活するとの見解もある。円安を背景に、国内旅行が活性化しており、国内の観光地間の競争が激しくなっている。さらに、観光目的は従来の「自然に触れる」、「名所旧跡」、「温泉」等に加え、近年はアニメの舞台等の「聖地巡礼」もその目的となり、観光の多様性が増している。 観光地は、その発生から「観光地」と成るまで、それぞれ固有の理由と成り立つ方法があり、観光ブランド化している。一方で、施設等を充実させていく中で没個性となりがちな観光地も見られる。観光地間の競争が増している現状において人気の観光地と成るためには、観光地の形成過程を見直し振り返ることで、当該の観光地の真の価値を問いただし、明らかにすることにほかならない。
1-2 研究の目的と方法	本研究では、まず国内の観光地の形成過程の類型を確認し、その一類型として「保養地」に焦点を当てることで、茨城県大洗町についての観光地形成のプロセスを明らかにし、大洗町の観光地としての価値を再認識し、今後の展望を考察する。
1-3 本稿の構成	本研究では、以下第2章において、国内の観光地がいかに形成されたかについて観光地形成の類型を整理する。続く第3章では、類型の1つである「保養」を起源とする茨城県大洗町の観光地としての形成過程を論じる。そして、第4章では、大洗の生活観光地としての可能性について考察する。
所属：* 観光学部観光学科 ** 有限会社社会技庫 *** 大洗町地域おこし協力隊	受領日 2025年1月14日

論文

(2023年度)



論文

(2024年度)

